

会議録

日 時	令和2年12月10日(木)から令和2年12月23日(水)
会 場	書面開催
出席委員	本橋委員長、山口委員、古木委員、中田委員、北村委員、藤崎委員、外崎委員
欠席委員	櫻井委員、橋本委員、安藝委員
市出席者	—

■協議事項

(1) 生涯学習市民活動団体支援事業補助金の変更案について

- A) 変更案通りで良いと思います。但し、新規事業の判断基準は明確にしておいた方が良いでしょう
- B) 補助金交付の目的が「市民の生涯学習を推進し、及びその振興に寄与すること」であるなら、継続して活動している団体であっても、新規団体であっても補助金交付の対象となることは自然なことと思います。提案内容でへんこうするのであれば、目的及び名称を変更する必要があるように思います。
- C) よろしいです。
- D) 支援事業補助金の交付目的から、対象者、対象団体の質、内容等の低下さえなければ、それも(見直し案)ありかと思えます。
- E) 変更概要案通りでよいかと思えます。
- F) 見直し案でいけば、2番がいいかなと思います。市民にもっと知ってもらうよう努力しないといけない。例：別紙にて町内会の回覧等をつかうなど。
- G) 以前から特定の団体の同一事業が多いことはきになっておりましたので、見直し、変更案については、良い方向だと思います。

【回答】

今回は概要案しか示しておりませんが、新規団体の判断基準や目的等の詳細については今後皆さまと協議していきたいと考えております。

また、令和3年度は市民への周知として現状行っている広報、ホームページへの掲載に加え、市内公共施設へのポスター掲示を予定しております。その他効果的な周知方法につきましては、引き続き検討してまいります。

(2) 北広島市社会教育の推進方針の改定について

- A) 施策14：中央公民館活動推進事業の箇所に「シャベルきたひろ」を記載下さい。
- B) 見やすさ、読みやすさを考えて編成されていると思います。
- C) わかりやすい表現になっていると思えました。
- D) 全体の構成について、言葉を細分化した表現が多く、簡略し分かりやすくしたらどうかと考えますが。政策4の現状課題、成果指標について、現状課題は文章を少しまとめたらどうでしょう。成果指標で未実施になっておりますが。見やすさ、読みやすさ、専門用語についての配慮は、特に多くの方々に施策を理解し進めるには大事なことと思います。

会議録

E) PDCA サイクルの考え方に基づいて点検・評価とあるが、その割には基準年度の(満足度をはかる)事業アンケートの調査が未実施が多すぎる。コロナ感染拡大の状況がいつまで(1~2 またはそれ以上) 続くかによって変わってくる為、この指標が意味のないものにならないようにしたい。つまりコロナ禍では、人数制限が必要になってくる(オフライン開催に限り) 状況の為、今までと同じような参加者数を指標にするのは少し難しい気がします。

新規事業について教えていただきたいです。スポーツ活動の推進のアダプテッドスポーツ開催事業とは? ジュニアスポーツ裾野拡大事業について、次年度入学1年のスポーツ教室のことでしょうか? もしそうでしたら安かろう悪かろうでした。

F) テーマとなっている「見る(使える) 推進方針」のポイントは良いと思います。関係者は知っているが、多くの市民に広く知られていない方針では意味がないと思いますので、多くの市民に周知されるようにアピールとか目につきやすい方法を工夫することが必要と思いました。

【回答】

全体を通してさらに理解しやすい文章となるよう工夫します。

未実施の事業アンケートにつきましては、令和3年度事業の中で実施し、その結果を随時推進方針に反映させていきます。

また、活動指標、成果指標につきましては、改めて両指標の定義を記載し、成果指標には参加者数等の社会状況により変動する値を使用しないよう作成します。

アダプテッドスポーツ開催事業については、現在の市の取り組みは、障がい者や幼児期、高齢者など、それぞれの年齢・身体条件にあわせたスポーツ振興を中心としておりますが、障がいの有無や、性差・世代を超えた様々な人が一堂に会した交流促進を目的とし新たにアダプテッドスポーツの推進に取り組むこととしたものです。具体的な事業としては、ボッチャ、リアル野球盤などを想定しており、北広島市スポーツ推進委員協力のもと、実施検討を行っていく予定です。

ジュニアスポーツ裾野拡大事業につきましては、次年度小学校入学予定の未就学児対象のものと、小学校3年生~6年生の少年団に入団していない児童を対象したものの2事業があり、いずれも参加料は500円で、今年度はきたひろちょいスポ倶楽部に委託し、実施をしているところです。

令和3年度以降につきましては、北広島市スポーツ振興計画の施行に伴い、事業の見直しを行っているところであり、きたひろちょいスポ倶楽部だけでなく、北海道日本ハムファイターズなどのプロスポーツチームとの連携も視野に事業について検討中です。また参加料については、市の事業としてだれでも参加できるような単価設定に努めながら、事業の質の向上を目指しているところです。

会議録

(3) 公民館事業「シャベルきたひろ」について

- A) 新たな事業である「シャベルきたひろ」を実施し成果をあげることができた。事業を通して改めて地域づくりやまちづくりに興味・関心がある市民が多いことがわかった。コロナ禍の中たいへんだが、充実・発展させていきたい。
- B) アンケート結果の満足度とはどういう質問をして、1はどのような答えだったのかわかりません。5が満足度が高いということでしょうか？
- C) エルフィンパーク、芸術文化ホールの掲示板に「シャベルきたひろ」のポスターが張ってありましたが、サイズが小さく、目立ち難いように感じました。折角の公民館事業の新たな試みですので、市民の方々に広く伝わるように努める必要を感じました。※社会教育委員の取組、優良事例として注目されたことよかったですね
- D) もっと若い人が来れるような工夫をしていきたい、紙媒体（市広報、HP、ポスター）のみでは集客ができない。できれば来年度は、FB ページ、HP（シャベル専用または社会教育課専用）、YouTube 等 SNS などを活用していきたい。オフラインで実施を原則としてはいるが世の中の動きとして、あまり外に出たくないという風潮が高まっている。オンライン実施も検討すべき。
- この事業から新規サークルを増やしたいということであれば、そうなるような（それを望んでいる）講師を探すのがよいと思います。（ただし、まちづくりや現代的課題をテーマにしたものに限る）
- コロナ禍でも実施してよかった（新北海道スタイルを貫けた）中央公民館を軸にしながらも社会教育の拠点施設であるレクリエーションの森なども利用するのもいいかもしれません。シャベルから他の社会教育課の事業さらには他課の事業に派生していけたらよいと思います。
- E) とても良いこと。続ける事が住民への認知へとなると思います。
- F) 今年度からの初めての事業であり、参加しやすい講座内容だったと思いました。講座に参加した方々は、アンテナをはって、広く情報を知る意識を持った方が多いと思うので、講座の開催を知る機会があったと思います。それ以外の方にも広く開催を知ってもらうため、例えば、小中高の生徒を通して家族に見てもらえる案内資料の配布等も良いのではと思います。

【回答】

アンケート結果の満足度につきましては、「本事業の内容はどうでしたか？」という問いに対して満足度を1（最小）～5（最大）の5段階で示していただきました。結果、満足度が最も高い「5」が全体の83%という結果になりました。

また、より効果的な周知方法や事業のあり方を検討します。次年度からオンラインでの講座を実施するよう検討を進めます。

会議録署名委員
